令和３年度版

中学社会

内容解説資料(別冊)

考える力を育てる 見方・考え方

日文の新しい教科書『**中学社会**』は，地理・歴史・公民の**三分野で統一した紙面**で**「見方・考え方」**を働かせた授業や学習を，**毎時間**行うことができます。
これを**３年間継続**することで，生徒の資質・能力の基礎を育成します。

新しい教科書紙面をご紹介します！

本資料は内容解説資料として，一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

日文の教科書情報
詳しくはWebへ!
日文 検索

未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

学びをつなげる連携

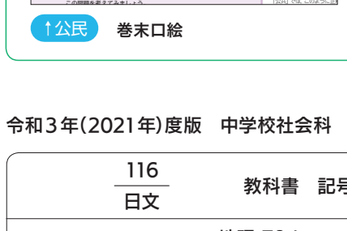
カリキュラム・マネジメントへの対応

校種間や分野間，他教科等と関連のある教材を多数紹介しました。
学習内容が共通する場合，担当の先生方と相談しながら，地域や学校の実態に合わせたカリキュラムを編成していただけます。

小学校や高等学校との接続

小学校で学習した内容
- 4年 私たちの住む県のようす 県内の特色ある地域のようす
- 5年 日本の自然環境の特色 日本の農林水産業，工業，情報 日本の災害・防災，環境保全

↑地理 各章の導入ページ

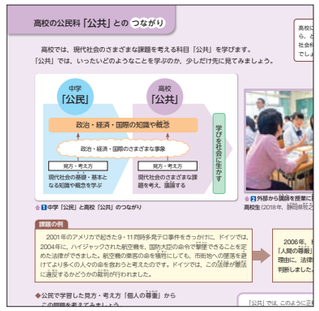


↑歴史 導入単元 既習内容の振り返り

小学校の振り返り・活用

中学社会

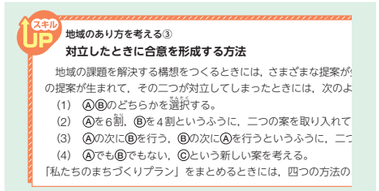
高等学校公民科への見通し



↑公民 巻末口絵

分野間の連携

↑歴史
P.124-125
地理的分野との関連



↑地理
P.272
公民的分野との関連

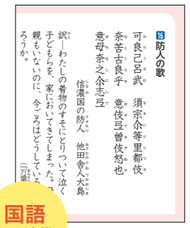
↑公民 P.145 歴史的分野との関連

↓連携コーナー
- 地理
- 歴史
- 公民

本文ページの脚注欄には，連携コーナーを設けて，他分野や小学校との関連を示しました。

他教科等との連携

数学との連携 ↑地理 P.133



国語との連携 ↑歴史 P.50

道徳との連携 ↑公民 P.116

令和３年(2021年)度版 中学校社会科 内容解説資料(別冊)

116 日文	教科書 記号・番号
	地理 704 歴史 709 公民 904

CD22251

本書の無断転載・複製を禁じます。

日本文教出版 株式会社
https://www.nichibun-g.co.jp/

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5 TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16 TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14 TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1 TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

新しい教科書
『中学社会』三分野
紙面のご紹介

「見方・考え方」を働かせて「深い学び」を実現します

「見方・考え方」とはどのようなものでしょうか？

新学習指導要領では，教科の学習の本質が「見方・考え方」を働かせることとされています。

「見方・考え方」は，課題を追究したり，解決したりする活動において，考察・構想する際の「視点や方法（考え方）」であるとともに，資質・能力全体の中核とされています。

「見方・考え方」をわかりやすく

学習に入る前に，親しみやすいイラストなどを使って，「見方・考え方」をわかりやすく紹介するページを設け，学習に入りやすいように工夫しました。

毎時間の「見方・考え方」を働かせた学習

すべての本文ページに，「見方・考え方」コーナーと「深めよう」などの**「見方・考え方」を働かせる問い**を設けて，**主体的・対話的で深い学び**を実現します。

学習プロセスの改善

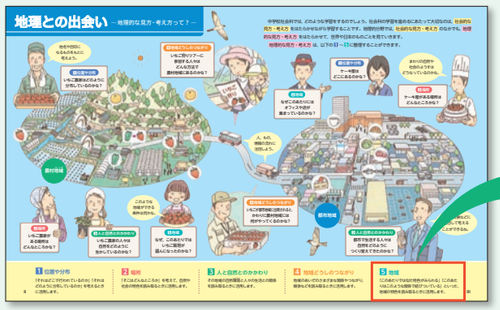
「どのように学ぶか」を重視して，教材を選択しています。

問題解決的な学習

具体的な課題や資料をもとに，それまでの学習で習得した知識や技能を活用して，問題解決的な学習に取り組みます。

思考力・判断力・表現力を高める

地理



↑P.Ⅱ-Ⅲ 巻頭口絵

「見方・考え方」コーナーは，学習課題を解決する手がかりです。

↑P.230-231

※州・地方学習では，「主体的」→「対話的」→「深い」の順で学習が深まっていきます。

↑P.232-233 ふりかえりページ

地理ではふりかえりページで，問題解決的な学習に取り組みます。

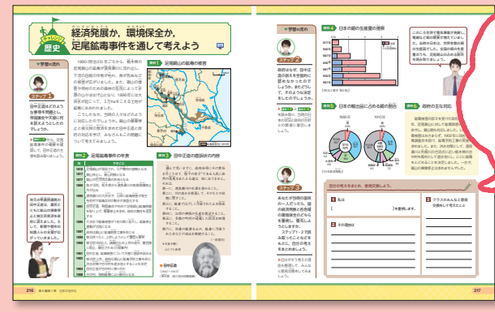
歴史

↑P.12-13 導入単元

各分野とも，「深めよう」は，「見方・考え方」をカギにして考えます。

↑P.72-73

※歴史の「深めよう」は，多様な「見方・考え方」を働かせて，歴史を多面的・多角的に考察することができます。



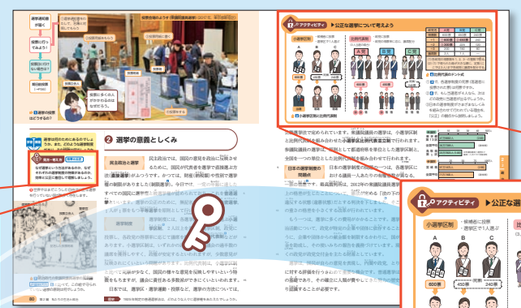
↑P.216-217 チャレンジ歴史

歴史について自分で考え，対話することができます。

公民

↑P.34-35 編導入

各分野とも，協働学習やシンキングツールを豊富に掲載しています。



↑P.80-81

※公民では，「アクティビティ」でも，見方・考え方を働かせる問いを設けています。

↑P.118-119 チャレンジ公民

公民では「社会の課題」を考察し，構想します。